

さいたま市立大宮北中学校

# 学校だより7月号



令和6年7月1日(月)

048(641)1214

048(641)6680(さわやか相談室)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>

## 学校教育目標

### 『人間性豊かな 実践力のある生徒』

- ◆たしかな学力
- ◆ゆたかな心情
- ◆たくましい身体

## 夏休みに向けて

校長 小林 正美

1学期最後の月となりました。写生大会、体育祭、学校総合体育大会、期末テスト、修学旅行、未来くるワーク体験、たて続けに大きな行事が行われました。生徒たちはこれらの貴重な体験を通して、仲間と協力して解決する力、目標に向かって努力することの大切さ、相手を思いやる心等多くのことを学んでくれたのではないかと思います。残り約3週間で1学期が終了します。そこで保護者の皆様にも、ご家庭でお子さんと一緒に今学期の生活を振り返り、1学期のまとめをしていただきたいと思います。本校の目指す生徒像である3つの目標を1学期のまとめのポイントとしていただければと思います。1つ目は「たしかな学力」、意欲的に学び、深く考える生徒になってほしいということです。人から言われてやるのではなく、何事にも興味や関心をもって積極的に取り組んだでしょうか。特に、授業、同好会活動、委員会活動にしっかり取り組めたでしょうか。2つ目は「ゆたかな心情」やさしく、温かい心をもつ生徒、広い視野からさまざまな良さを発見する生徒になってほしいということです。人を思いやる優しい心、自分のためだけでなく他人のためにも進んで働く心が育ったでしょうか。3つ目は「たくましい身体」、病気や誘惑に負けない、健康でたくましい体と心を持ち、粘り強く進んで鍛える生徒になってほしいということです。病気に負けない体、何事にも自ら進んで行動する力、そしてたくましい心が育ったでしょうか。私たち教職員は、本校の学校教育目標「人間性豊かな実践力のある生徒」に育ってくれるよう、これからも一層の努力をして参る所存です。

もうすぐ夏休みです。何かと忙しい中学生ですが、せつかくの長い休みです。夏休みを有意義に過ごし、一段と成長するためにも、規則正しい生活の中で、ご家庭で子どもたちにできるだけ多くの、本物の自然や芸術・文化に触れさせ、そして家族の絆を強めるような実体験を積み重ねていただければと願っています。

さて、話は変わりますが、生徒の皆さん、SDGsについてすでに知っていると思いますが、SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。簡単に言うと、今の私たちが普通に生活しているこの状態を、私たちの子どもや孫の世代も同じように生きられるようにするには、今私たちはどんなことに気を付けて生活していけばよいのかを考えることです。そして、SDGsは、この先の世界が今以上によくなるために、2030年までに世界の人全員で協力して解決したい目標のことを言います。今のまま、生活を便利にするために、地球上の限りある資源をどんどん使い続けると、この地球はどうなってしまうのでしょうか。今のままだと、50年後、100年後の人たちが私たちと同じような生活をすることはできなくなります。「これはまずいな。今のままでは資源はなくなってしまう。どうしたらいいんだろうか。」などと考えることが今とても必要なのです。世界の現実を知り、どうしたら良いかを考え、行動を起こしていく人が増えていくと、少しずつですが確実に世界は変わっていきます。SDGsは「地球規模で考え、足元から行動する」ことが大切です。足元から行動するとは、身近なことから行動しましょうということです。でも、地球温暖化について真剣に考えることができて、友だちが困るようなことをしたり言ったり、いじめを見て見ぬ振りをしたりすることなどは、もってのほかです。「足元から行動する」の中には、毎日の生活の中で起る小さいじわるをやめるとか、弱い者いじめをしないことなども当然含まれています。みなさんも世界に目を向けつつも、自分の足元、身の回りに起こっている様々なことに好奇心をもって反応していきましょう。みなさんが地球のことを考える先頭にいるのです。そして、この考え方を多くの人に広めていきましょう。